

都立高校の入試制度について

～ 令和5年度入試（前年度入試）の概要等 ～

東京都教育庁都立学校教育部
高等学校教育課入学選抜担当

1 都立高校の入試の種類

推薦に基づく選抜
(推薦入試)

一般推薦

文化・スポーツ等特別推薦

理数等特別推薦

学力検査に基づく選抜
(一般入試)

第一次募集・分割前期募集

分割後期募集・第二次募集

2 推薦入試の目的と応募資格

【目的】

○一般推薦

基礎的な学力を前提に、思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力や、自分の考えを相手に的確に伝えるとともに、相手の考えを的確に捉え人間関係を構築するためのコミュニケーション能力など、これからの社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。

○特別推薦

各都立高校の個性化・特色化を推薦するため、卓越した能力をもつ生徒の力を評価し、選抜する。

○特別推薦（理数）

科学技術の根底にある理数系分野の素養を前提に、探求の過程を通して、課題を解決する力や、他者の考えから自分の力を深めるとともに、新しい価値を生み出す創造性など、変化し続ける社会にあって生徒たちに必要となる力を評価し、選抜する。

2 推薦入試の目的と応募資格

【応募資格】

志願する都立高校を**第一志望**とする者で、一般推薦、文化・スポーツ等特別推薦、理数等特別推薦に志願する意思があり、在学している中学校の校長の推薦を受けた者

3 文化・スポーツ等特別推薦

【目的】

- 各都立高校の個性化・特色化の推進
- 卓越した能力をもつ生徒の力を評価

※ 同一校の一般推薦に併せて出願することが可能

	令和5年度入試	令和4年度入試
実施校数	88校	92校
実施種目(延べ)	258種目	264種目
募集人員	891人	916人
応募倍率	1.90倍	1.93倍

4 理数等特別推薦

【目的】

- 課題を解決する力、創造性など変化し続ける社会にあって生徒たちに必要な力を評価

※ 同一校の一般推薦に併せて出願することはできない。

	令和5年度入試	令和4年度入試
募集人員	8人	8人
応募倍率	1.50倍	2.00倍

※ 令和4年度入試から都立立川高校において実施

※ 令和6年度入試から都立科学技術高校においても実施する予定

5 推薦入試（一般推薦）の合否判定

必須

- ◆調査書点
(綜合成績の50%以下)
- ◆個人面接点・~~集団討論~~

実施しない。

綜合成績

選択

- ◇小論文又は作文点
- ◇実技検査点
- ◇学校設定検査点

※『自己PRカード』
は個人面接の資料として活用します。

6 個人面接・集団討論の内容

推薦入試は「思考力、判断力、表現力等の課題を解決するための力」や「コミュニケーション能力」などを評価し、選抜することを目的としています。

【個人面接】

出願の動機・理由、興味・関心、規範意識・生活態度や自己PRカードの記載内容などを確かめ、これまでの経験を今後の高校生活で生かせる力があるかなどを確認します。

【集団討論】

与えられた課題について、意見を述べ、意見をまとめることができるか、結論を導くことができるかなどを確認します。

令和6年度入試の集団討論の実施については、現在検討中です。

● 推薦入試 小論文・作文のテーマの例

【小論文】

環境問題に関する世論調査を行った。その中で、「プラスチックごみによる海の汚染などのプラスチックごみ問題に関心があるか。」と質問している。この回答状況を示した図に基づき、プラスチックごみ問題への関心について、分かることを述べなさい。

【作文】

「協力して物事に取り組む」ということについて、あなたの中学校時代の具体的な経験を示し、今後の高校生活の中での「協力する」ということについて、あなたの考えや実践したいことを書きなさい。

7 各検査における評価の観点等の公表

一般推薦を実施する都立高校は、自校のホームページで各検査における評価の観点等を公表します。

【評価の観点】（事前）

10月1日以降の最初の学校説明会までに公表されます。

※ 具体的な内容やテーマは、事前に公表はされません。

【得点分布】（事後）

個人面接点、小論文点、作文点、実技検査点等の分布状況が、3月上旬を目安に、各学校のホームページで公表されます。

【テーマ等】（事後）

令和5年度都立高校推薦入試で実施した小論文・作文、実技検査のテーマ等は、8月上旬頃に東京都教育委員会のホームページで公表する予定です。

8 一般入試の合否判定

学力検査の得点

調査書点

中学校英語
スピーキングテスト結果

総合得点

面接点
小論文点又は作文点
実技検査点 等

総合成績

※面接を実施する
学校においては、
『自己PRカード』
は面接の資料として
活用します。

9 中学校英語スピーキングテストの結果活用

◆活用区分 第一次募集・分割前期募集

※ エンカレッジスクール、チャレンジスクール、英語学力検査を実施しない学校等は対象外

◆調査書への記載

諸活動の記録の欄にある、「中学校英語スピーキングテスト結果の欄」に、スピーキングテスト結果（A ～ F ： 6段階の評価）の記号を記入

※スピーキングテストを受けていない者については、以下のとおり

①受験対象でない者（例：国私立中学校生徒でテストを受けていない者）

⇒ **N**

②措置申請承認書の交付を受けた者⇒ **H**

③それ以外の者⇒ **W**

中学校は、調査書等の出願に要する書類と併せて、スピーキングテストのスコアレポートを高校へ提出

9 中学校英語スピーキングテストの結果活用

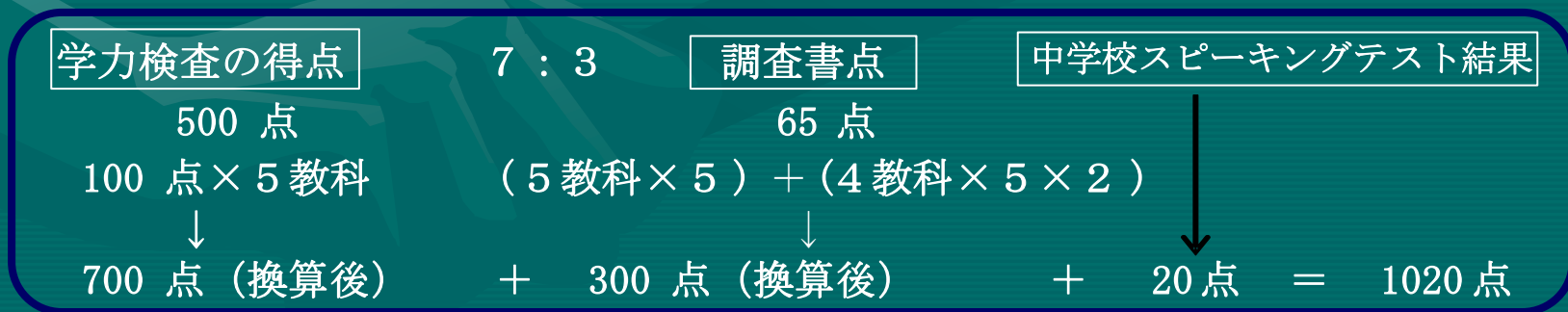
◆評価の点数化

都立高校では、AからFまでの6段階で提出された評価を、次の表のとおり、20点満点に点数化する。

スピーキングテスト結果（評価）	A	B	C	D	E	F
都立高等学校入試での活用（点数化）	20点	16点	12点	8点	4点	0点

◆総合得点の算出

スピーキングテスト結果の点数は、学力検査の得点と調査書点の合計に加え、総合得点を算出する。



10 学力検査の得点と調査書点の比率等

【全日制課程】

募集	学力検査の教科数	学力検査の得点と調査書点の比率
第一次募集・ 分割前期募集	5教科 (国・数・英・社・理)	7 : 3
分割後期募集・ 第二次募集	3教科 (国・数・英)	6 : 4

※ 学校によっては、学力検査に加え、面接、小論文又は作文、実技検査を実施する場合があります。

※ 「体育科」「芸術科」の学校は、3教科(国・数・英)、6 : 4になります。実技検査を行います。

10 学力検査の得点と調査書点の比率等

【定時制課程・昼夜間定時制課程】

募集	学力検査の教科数	学力検査の得点と調査書点の比率
第一次募集・分割前期募集	5教科(国・数・英・社・理)の中から3教科以上	7 : 3 又は 6 : 4
分割後期募集	3教科(国・数・英)	6 : 4 又は 5 : 5
第二次募集	5教科(国・数・英・社・理)の中から3教科以上	6 : 4 又は 5 : 5

※ 面接を実施します。

※ 学校によっては、学力検査及び面接に加え、小論文又は作文、実技検査を実施する場合があります。

※ 通信制課程における学力検査の教科数、学力検査の得点と調査書点の比率は、各学校が定めます。

1 1 調査書点の算出

学力検査	評定を1倍	評定を2倍	評定の満点
5教科	国・数・英・社・理	音・美・保体・技家	65点
3教科	国・数・英	社・理 音・美・保体・技家	75点

例えば、次のような評定のAさんが、学力検査が5教科、学力検査の得点と調査書点の比率が7：3の学校を受検する場合

国	数	英	社	理	音	美	保体	技術
5	3	5	4	3	3	4	5	3

$$(5 + 3 + 5 + 4 + 3) \times 1 + (3 + 4 + 5 + 3) \times 2 = 50 \text{点}$$

$$50 \text{点} \times 300 \text{点} \div 65 \text{点} = \underline{230 \text{点}} \quad ※ \text{小数点以下切り捨て}$$

12 マークシート方式の実施

問題形式

- 記号選択式問題（数値のみで解答する問題等についてもマークシート方式で解答する場合があります。）
- 記述式問題

過去の学力検査問題については、解答用紙を含めて東京都教育委員会のホームページで公表しています。

『実際に塗ってみよう！』という
機会の設定を！



引き続き、受検者への周知、指導をお願いします。

1 3 特別措置

● 障害のある受検者に対する措置

- ・ 希望する場合は、事前の申請が必要です。
- ・ 検査問題の程度を変えない範囲で、検査方法、検査時間及び検査会場について適切な措置を講じます。

(問題用紙・解答用紙の拡大、英語リスニングテストでの座席の配慮、別室受検、検査時間の延長、記号選択式での受検、ICT機器の使用など)

- ・ 推薦に基づく選抜においても、本措置申請を行うことができます。

○ 申請は中学校長を経由して、12月中旬までに志願する都立高校長に申請書により行います。

具体的な措置の内容等についての確認や相談等は、管理職の先生を通して入学選抜担当へ御連絡ください。

1 3 特別措置

- 一般の学力検査における日本語指導を必要とする生徒等に対する措置（ルビ付問題）
 - ・ 希望する場合は、入学願書提出時に申請が必要です。
 - ・ 国籍を問わず、入国後の在日期间が入学日現在原則として6年以内の受検者に措置を講じます。
（ひらがなのルビを振った学力検査問題等での検査の実施）
- 申請に要する書類は（1）日本語指導が必要な生徒等の都立高等学校受検に対する学力検査等実施上の措置申請書（2）入国後の在日期间が入学日現在6年以内であることを証明する公的機関発行の書類
 - ※（2）は中学校に在籍していない者のみ

1 3 特別措置

● 一般の学力検査における日本語指導を必要とする生徒等に対する措置（ルビ付問題・辞書持込み）

- ・ 希望する場合は、入学願書提出時に申請が必要です。
- ・ 国籍を問わず、入国後の在日期间が入学日現在原則として3年以内の受検者に措置を講じます。

（ひらがなのルビを振った学力検査問題等での検査の実施、辞書の持ち込み（電子辞書を除く。）、検査時間及び検査会場）

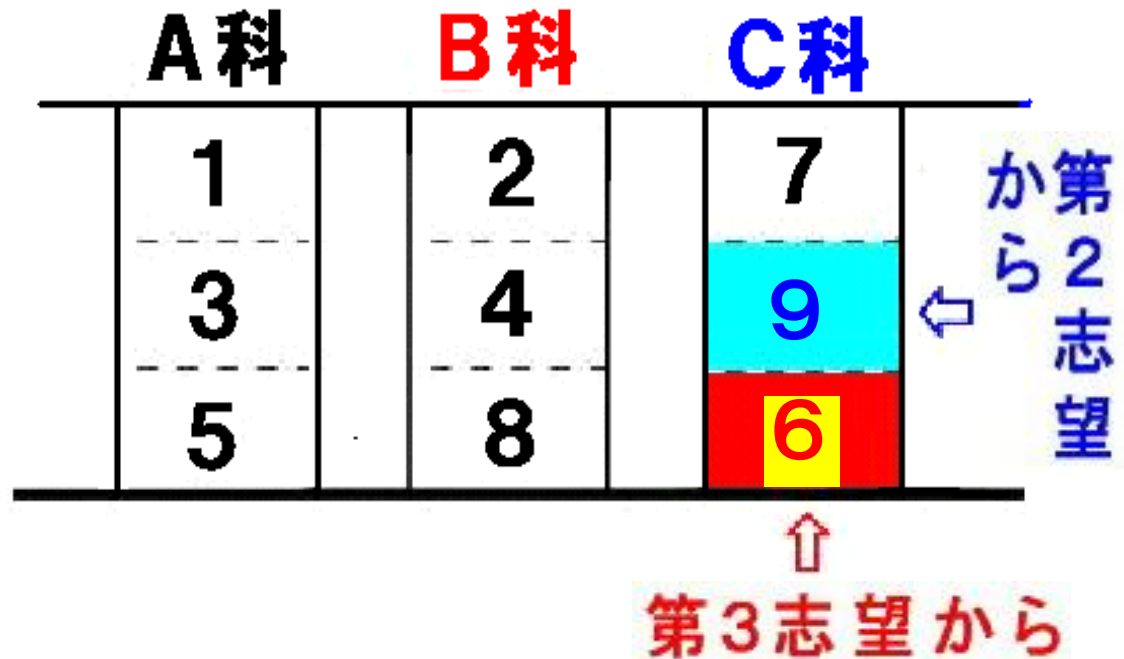
- 申請に要する書類は（1）日本語指導が必要な生徒等の都立高等学校受検に対する学力検査等実施上の措置申請書（2）入国後の在日期间が入学日現在3年以内であることを証明する公的機関発行の書類
※（3）は中学校に在籍していない者のみ

14 選考について

(同一の学科内にA科, B科, C科がある場合の選考)

総合 成績 順位	志 望		
	①	②	③
1	A合	B	C
2	B合	A	C
3	A合	B	C
4	B合	A	C
5	A合	C	B
6	A	B	C合
7	C合	A	B
8	B合	A	C
9	A	C合	B
10	B	A	C
11	C	A	B
12	A	B	C
13	A	C	B
14	B	A	C
15	A	B	C

学 科	A	B	C	計
募集人員	3	3	3	9

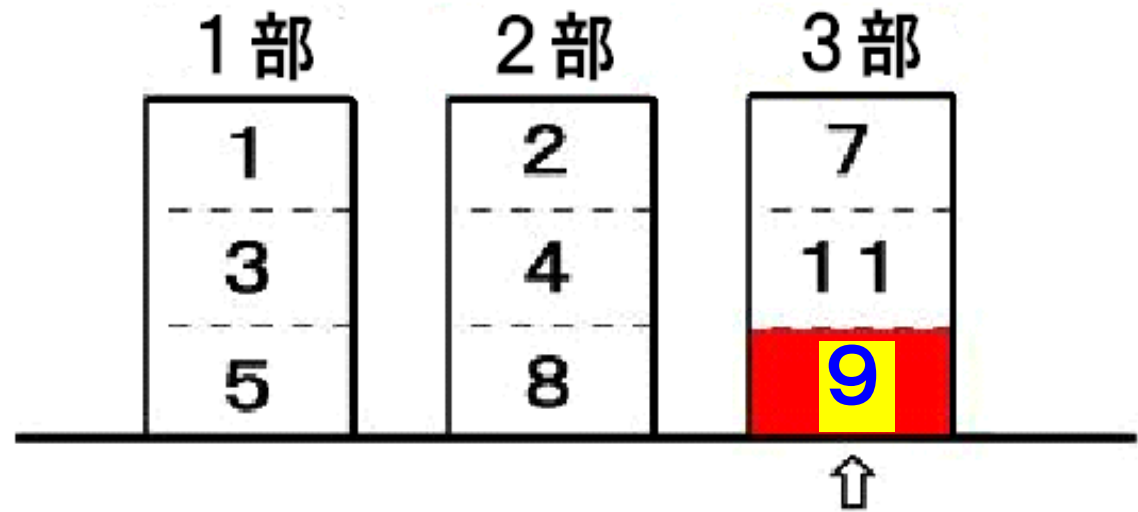


1 4 選考について

(1部, 2部, 3部がある場合の選考)

総合成績の順位	志望		
	①	②	③
1	1部	2部	3部
2	2部	1部	3部
3	1部	2部	3部
4	2部	1部	3部
5	1部	3部	2部
6	1部	2部	3部
7	3部	1部	2部
8	2部	1部	3部
9	1部	3部	2部
10	2部	1部	3部
11	3部	1部	2部
12	1部	2部	3部
13	1部	3部	2部
14	2部	1部	3部
15	1部	2部	3部

	1部	2部	3部
募集人員	3	3	3



15 本人得点の開示について

- 学力検査の結果を知るためには

① 本人得点の開示

学力検査等得点表（学力検査の結果に加えて、評定やその他の検査の結果も含め、入試の区分（推薦・一次等）ごとに一覧で表示）

開示請求方法 受検した高校に請求

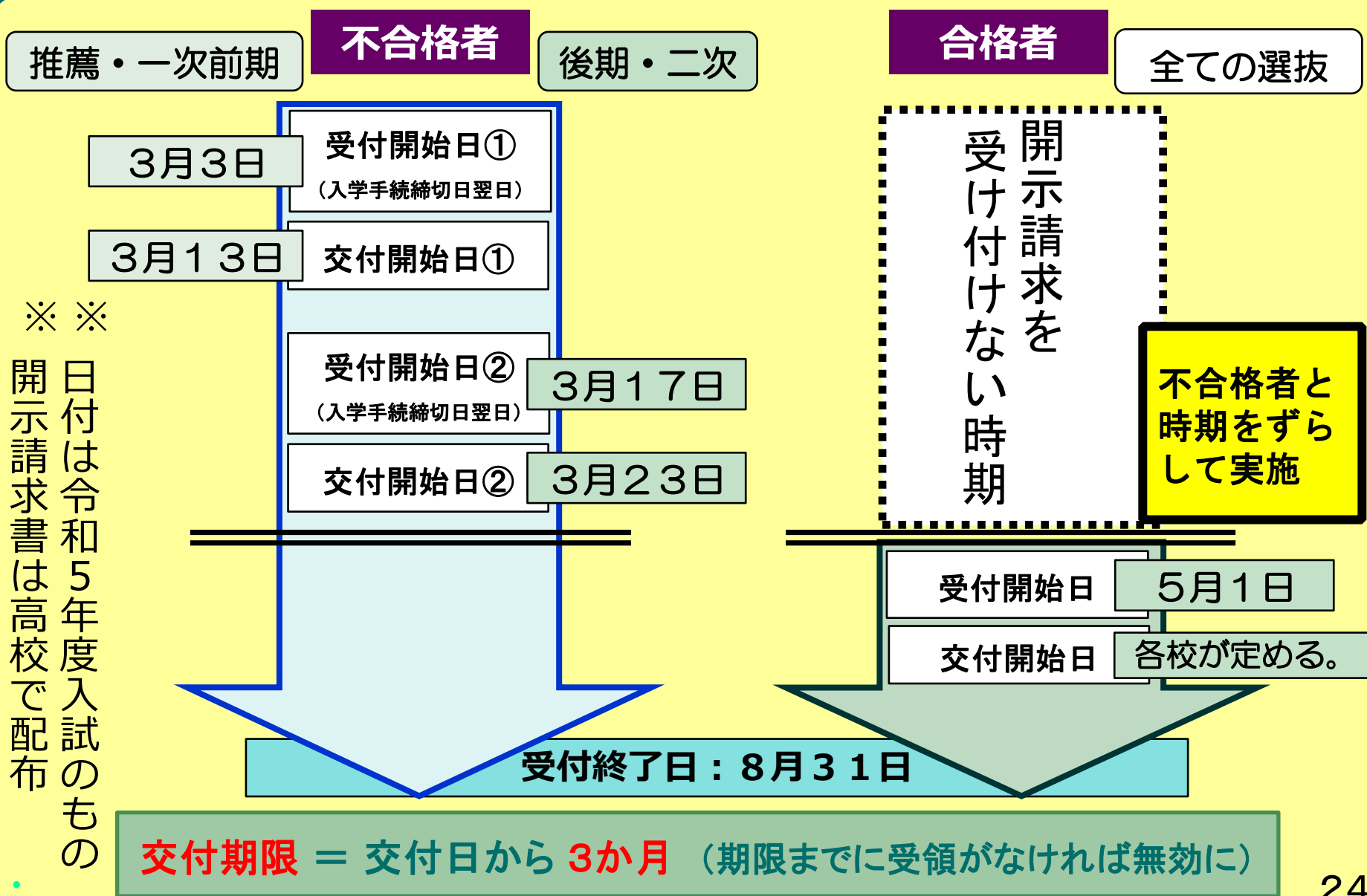
② 答案の開示

開示請求した教科の答案の写し

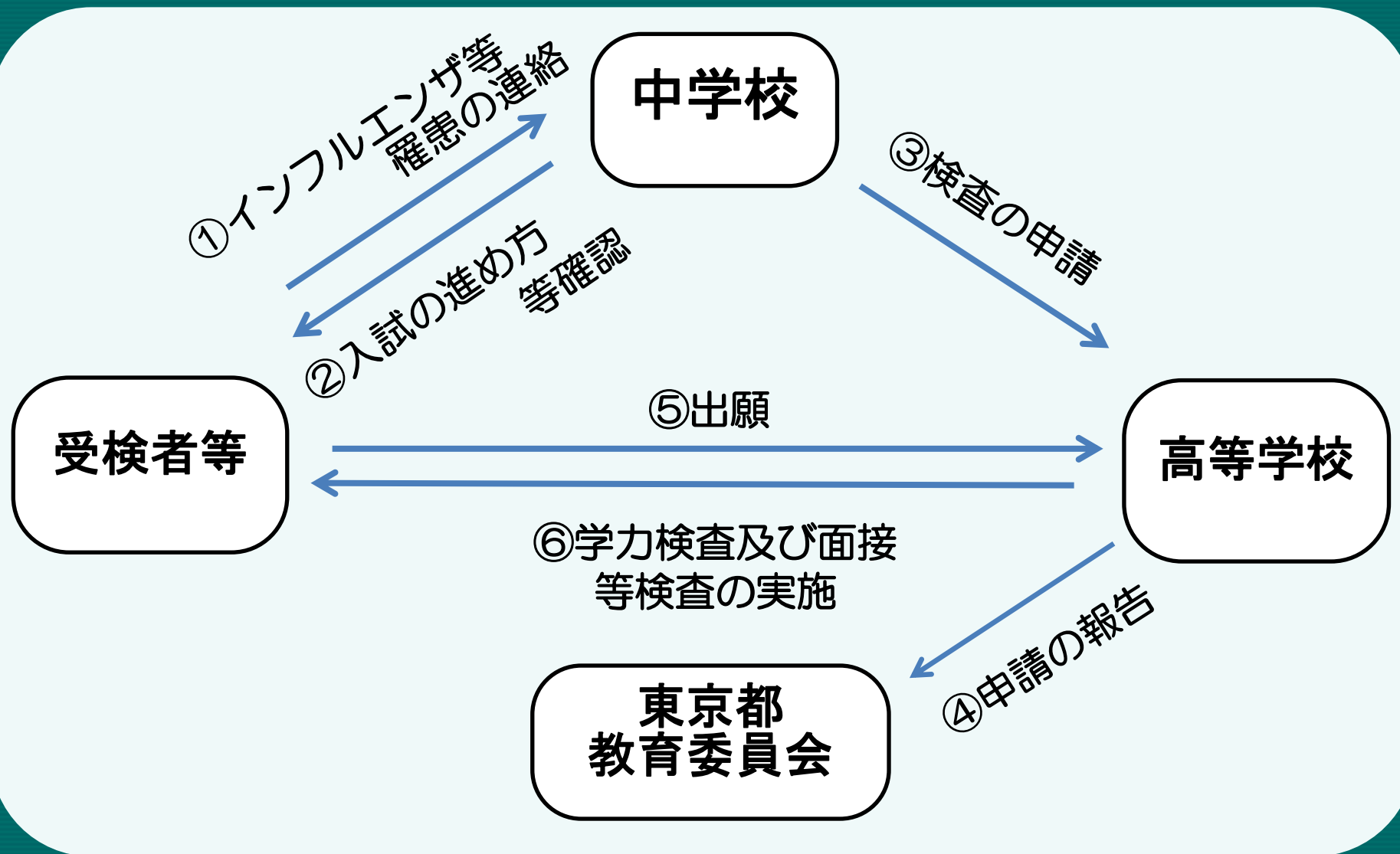
開示請求方法 受検した高校に請求

※ 東京共同電子申請・届出サービスを利用することで電子での申請も可能

15 本人得点の開示について



16 インフルエンザ等学校感染症罹患者等に対する追検査について



1 7 令和6年度入試の主な日程

	入学願書 受付	取下げ 再提出	検査	発表
推薦入試	1/12(金) ～ 1/18(木)	—	1/26(金) 1/27(土)	2/ 2(金)
第一次募集・ 分割前期募集	1/31(水) ～ 2/ 6(火)	2/13(火) 2/14(水)	2/21(水)	3/ 1(金)
分割後期募集 ・第二次募集	3/ 6(水)	3/ 7(木) 3/ 8(金)	3/9(土)	3/14(木)

※ 入試の日程が上記と異なる選抜や学校もあります。

※ 推薦入試及び第一次募集・分割前期募集における入学願書受付については、原則としてインターネットを活用した出願方法となります。

18 今後の予定

時 期	内 容
9 月	「令和6年度東京都立高等学校入学者選抜実施要綱・同細目」決定
	「令和6年度東京都立高等学校入学者選抜実施要綱説明会」の開催
10 月	「令和6年度都立高等学校等第一学年生徒募集人員」の発表
11月上旬	「令和6年度東京都立高等学校募集案内」発行（生徒・保護者向け）

※ 今年度の「実施要綱説明会」についても、オンライン形式で行う予定です。

都立高校の入試制度について

～ 令和5年度入試（前年度入試）の概要等～

終

東京都教育庁都立学校教育部
高等学校教育課入学選抜担当